

学校教育目標
ひとひとりが輝く学校づくりをめざして
夢をいただき たくましく伸びゆく 音羽川の子
 ○すすんで学ぶ子 ○こころ豊かな子
 ○やりぬく子 ○からだを大切にする子 ○だれとでも なかよく よいところを
 みつけることができる子 ○あんぜんにすごせる子
 ○元気な子 ○出合いを大切にする子 ○ありがとうと言える子

具体的目標

- * 知・徳・体のバランスのとれた教育活動を展開する。
- * 基礎的な学力・技能を身につけ、自ら考え、判断し、豊かな言語活動を通して表現できる力を養い、進んで学ぶ子の育成を目指す。
- * 友達を思うやさしい心を育てることを通して、人権の大切さ、感動する感性など、こころ豊かな子の育成を目指す。
- * 健康や安全について考え、自分のからだを大切にする子の育成を目指す。
- * 何事にも粘り強く挑戦し、やりぬく子の育成を目指す。
- * 友達とだれとでも仲良くいじめのない学校を目指す。
- * 自分の思いを元気に話せる子の育成を目指す。
- * 出合いを大切に多くの人々に対してコミュニケーション能力の育成を図る。
- * ありがとうと心から言える子を育てる。

学校経営方針

7つの重点

1. 楽しく安心できる学習環境
 - ・ 気持ちよく学習ができる環境を教職員の力で創る
 - ・ どの子にもわかり 学ぶことの楽しさを実感できる授業を展開する
 - ・ 個々の発達の不安や悩みと向き合う確かな児童理解を深める
 - ・ お互いのよさを認め合い支えあう温かい学級づくりを目指す
2. 確かな学力の定着
 - ・ 読み・書き・計算などの基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけるよう指導しきる
 - ・ 基礎的な知識や技能を身につけその力をもとに、補充的・発展的な学習を展開する
 - ・ 学力定着調査の分析を通じた学力実態にもとづき、指導法の工夫を行う
 - ・ 指導略案をもとに授業を公開し、指導者の授業力をつけることにより「わかる授業」を目指す
 - ・ 読解力の育成に向けた朝読書および朝学習とチャレンジ学習において国語科と算数科の基礎的・基本的な学力を定着させ、自学自習の習慣化を図る
 - ・ 総合的な学習の時間においては、各教科・領域等との関連を図った幅広い学力の育成と育てたい力を明確にし、山科の環境と福祉、伝統、産業に目をむけた指導を進める
 - ・ どの教科においても言語活動を通し豊かに表現できる子を育てる
3. こころ豊かな子を育てる
 - ・ 全学年クラス替えを通してだれとでもなかよく よいところをみつけることができる子どもを育てる。
 - ・ ありがとうと心から言える子を育成する
 - ・ 道徳の時間を充実させるとともに、校内研修を通して児童の豊かな心を育てる授業力をつける
 - ・ 自然・社会体験を通して、社会生活におけるマナーやルールを守るなど望ましい態度や道徳的実践力を身につける
 - ・ 出合いを大切に「あいさつができる子」を育てることにより、よりよい対人関係を築くためのコミュニケーション能力の育成を図る
 - ・ 人権学習会を通して友達を思うやさしい心を育てる
 - ・ 茶道・華道を通して日本の伝統文化を尊重する心を育てる
 - ・ いじめの早期発見といじめられた子の思いにたった解決策を考える
4. 健康や安全について考え、自分のからだを大切にする子の育成を目指す
 - ・ 自分の体力の向上に向けて毎日努力する子を育てる
 - ・ 食育を通して自分の健康管理を考えられる子を育てる
 - ・ スポーツ活動を通してスポーツを楽しみ、生涯スポーツの一步が歩める子を育てる
 - ・ 校舎リニューアル工事を見据えて安全な学校生活を送る子を育てる。
5. 保護者と地域に信頼される学校
 - ・ 外部評価や子どもによる評価を活用し、教育活動の点検と取組の改善・充実を図る
 - ・ 教育活動の成果と課題を明確にし、懇談会や家庭訪問などを通して保護者に説明責任を果たす
 - ・ 学校運営協議会を通して学校と家庭や地域との連携を密に信頼を深める
6. 教職員の意識改革
 - ・ 公開授業を伴った積極的な研修の実践により、子どもの個性を伸ばす指導の質的充実を図る
7. 理数教育の推進を図り、興味や意欲が芽生える学習環境をつくる
 - ・ 第二理科室を科学の広場として開設する。